



社会課題の解決に貢献する
世界最高水準の
社会システムイノベーション研究

神戸大学 社会システムイノベーションセンター 2026



神戸大学

社会システムイノベーションを通じた政策提言と 社会実装のための異分野共創研究プラットフォーム

神戸大学社会システムイノベーションセンターは、社会科学の先端的な知見を総合し、日本と世界の多様な社会問題の解決に貢献することをめざし、世界最高水準の社会システムイノベーションの総合的研究拠点を形成します。

組織目標

神戸大学社会システムイノベーションセンターは、社会科学の先端的な知見を総合し、日本と世界の多様な社会問題の解決に貢献することをめざし、世界最高水準の社会システムイノベーションの総合的研究拠点を形成します。社会科学の諸分野が学際的に連携し、異分野共創型研究に取り組み、その先端的な成果を社会に還元する政策提言・社会実装を推進します。さらに産官学連携の共同研究を積極的に担い、また国際連携プロジェクトを展開します。これらの研究活動を通じて、次世代の社会システムイノベーションの担い手となる若手研究者を育成します。

研究成果の社会的還元のために、個別の研究プロジェクトの成果報告のほか、国際シンポジウムや公開セミナーの開催、また六甲台の学術成果を世界へ発信するシュプリング・シリーズ刊行等を推進します。

研究体制

当センターは、2024年度から、ビジネスプラットフォーム研究部門とパブリックウェルフェア研究部門の2部門体制で研究を進めており、各部門の概要は下記のとおりです。

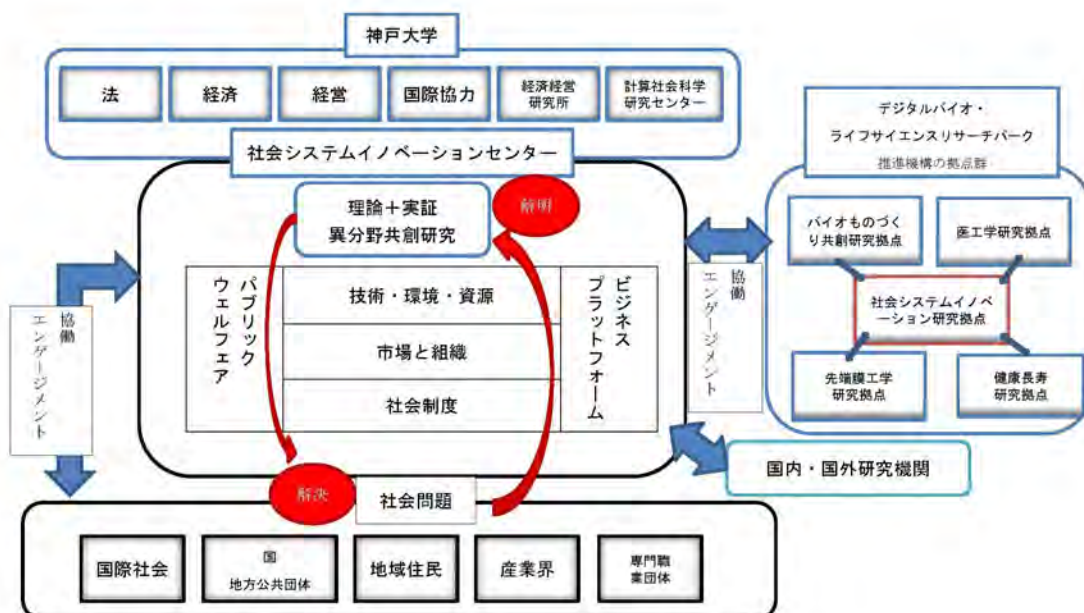
①ビジネスプラットフォーム研究部門

経済のデジタル化に伴って、市場、組織に次ぐ第3の資源配分メカニズムとして社会的重要性を増すプラットフォームの影響を含め、価格設定、独占・寡占、個人情報保護、無形資産の認識・測定、マーケティング、社会政策への活用などの諸問題を、先端的なデータサイエンスによる分析を駆使しつつ研究するとともに、大学内シーズと社会ニーズとのマッチングによる社会連携プラットフォームの構築にも貢献する。

②パブリックウェルフェア研究部門

持続可能な社会における公共の果たす役割をめぐって、地域福祉、健康医療、人口移動・労働力、都市政策・社会インフラ、未来エネルギーの推進などの幅広いテーマに沿って先端的研究や共同研究を推進し、その成果に基づく政策提言・社会実装を行う。

さらに本センターは、神戸大学デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進機構において、4大フラッグシップ研究拠点を結びつける中核拠点である「社会システムイノベーション研究拠点」を担い、神戸大学の文理融合・異分野共創型研究を牽引しています。





社会課題の解決に貢献する研究の 推進拠点としてさらなる発展を

社会システムイノベーションセンター長 金子 由芳

神戸大学は1902年設立の神戸高等商業学校に端を発し、1929年に神戸商業大学に昇格、1944年に神戸経済大学へ改称、1949年より神戸大学として現在に至ります。この間、社会科学系の陣容は、当初の1学部から、4研究科1研究所を擁する5部局体制へと拡大し、現在までに260名以上の専任教員を抱える、わが国における社会科学の一大研究拠点を形成するに至っています。

六甲台は、もともと実学志向の強い学風でしたが、時代の進歩とともに専門分野が細分化する傾向は否めず、現代社会の多様な課題に有益なソリューションを提供していくために、いま一度、専門分野の垣根を越えて研究者が集結し、社会科学の先端研究に取り組むとともに、異分野共創型研究体制の構築を推進することが社会的要請となっています。

このような社会的要請に応え、社会科学が牽引する先端的・学際的研究組織として、2012年4月、神戸大学社会科学系教育研究府が設立されました。2016年4月には、この社会科学系教育研究府をさらに発展的に改組し、先端研究の推進とともに文理融合型研究による社会的課題の解決を実践する研究組織として、現在の社会システムイノベーションセンターが設置されました。

本センターの組織体制は、2024年4月の改組により、「ビジネスプラットフォーム研究部門」と「パブリックウェルフェア研究部門」の2部門体制で構成されています。このうち「ビジネスプラットフォーム研究部門」では現在、「市場制度分析クラスター」と「都市インフラ高度化研究クラスター」を設け、デジタル化社会における市場や情報インフラをめぐる制度的課題、また都市の人流・物流の課題について、データサイエンスを駆使した先端的分析を進めています。「パブリックウェルフェア研究部門」では、「少子高齢化社会研究クラスター」と「サステナブル社会研究クラスター」を設け、医療・健康等の地域的課題、労働者の権利保護、中小企業のデューディリジェンス、未来エネルギーなどの次世代志向の中核的研究プロジェクトを推進しています。加えて、自治体や企業との産官学連携による共同研究や、海外の国家機関や研究機関との国際連携を推進しています。

さらに本センターは、神戸大学が推進するデジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク (DBLR) 推進機構に積極的に参画し、社会システムイノベーション研究拠点を通じて、医工学研究拠点、バイオものづくり協創研究拠点、健康長寿研究拠点、先端膜工学研究拠点との拠点間連携を牽引しています。

本センターでは、研究成果を広く社会的に還元するために、シンポジウム・ワークショップ等を積極的に開催し情報発信に努めるとともに、一般向け公開講座「KUSSIゼミナール」を年次開催し、受講者に修了証を発行しています。さらに本センターは、社会科学の牽引する先端研究・学際的研究の成果を国内外に普及するために、Springer社との提携によるKobe University Social Science Research Seriesとして、英文書籍の出版を継続的に行っています。

社会に解決を待つ課題があるかぎり、神戸大学社会システムイノベーションセンターはその課題と向き合い、存在意義を示し、政策提言・社会実装の役割に任じて参ります。今後とも引き続きご理解ご協力をお願い申し上げます。

特命教員紹介

本センターには、専任教員 5 名（センター長、副センター長）、特命教員 2 名が所属しています。特命教員は本センターの国際共同研究、定評ある国際誌への論文発表、研究を基礎にした政策提言や社会実装、シンポジウム等の社会還元を牽引しています。



中島忠博
（特命教授）

エネルギー市場の時系列分析を専門とし、市場間伝播、リスク計量、裁定取引、ヘッジ取引、市場効率性、弾性値などを多角的に実証研究している。持続的で安定した効率的な市場の構築に貢献することに関心を持つ。



吉田隆紘
（特命准教授）

データサイエンスを用いた政治学・行政学の研究をしており、特に大規模人事データによる人事行政の分析を行ってきた。現在は、計量テキスト分析の手法を用いて政策過程研究にも取り組んでいる。

研究部門紹介

本センターは、社会問題の解決を目指した社会システムのイノベーションと社会実装を推進する分離融合研究を行うことを目的として、2部門体制で研究を進めています。

2026年度には7プロジェクトに学内研究者40名、学外研究者16名が参加しています。

ビジネスプラットフォーム研究部門



部門長・副センター長
森村 文一

経済のデジタル化に伴い、市場、組織に次ぐ第3の資源配分メカニズムとして、プラットフォームが社会的重要性を増している。ビジネスプラットフォーム研究部門では、地域、国内、および国際的な課題に関して、人材、金融、ICT、サステナビリティといったさまざまな観点から、プラットフォームの活用を軸とした研究を行う。これらの研究により、多様な社会的課題の解決につながる社会実装を目指す。また、大学内シーズと社会ニーズとのマッチングという社会連携プラットフォームの構築にも貢献する。

パブリックウェルフェア研究部門



部門長・副センター長
衣笠 智子

本部門では、技術・資源・環境、開発、金融・財政、貿易、医療・福祉、市場、組織、プラットフォームさらに社会におけるSDGsなどの広範な社会課題を研究

テーマとして取り上げる。

これらの諸課題に対して、社会科学の枠を超えた異分野共創研究を実施し、その成果を政策提言・社会実装することに取り組む。

研究プロジェクト一覧（2026年度）

ビジネスプラットフォーム研究部門

市場制度分析クラスター



副センター長・森村文一

●環境配慮型製品・サービスの市場化モデル構築研究プロジェクト



特命教授・中島忠博

●不確実性ショックに対するエネルギー市場システムの強靱性向上プロジェクト



特命准教授・吉田隆紘

●デジタル化社会の比較法制度研究プロジェクト

都市インフラ高度化研究クラスター



副センター長・松尾美和

●公共交通の持続可能性と地域社会

パブリックウェルフェア研究部門

AIと少子高齢化社会研究クラスター



副センター長・衣笠智子

●少子高齢化時代の健康・労働・地域課題の学際的研究プロジェクト



副センター長・大内伸哉

●情報社会における転勤・住宅・都市構造の統合研究—人材移動と定住の最適化

サステナブル社会研究クラス



センター長・金子由芳

●サステナビリティとデューディリジェンス制度基盤研究プロジェクト

地域連携研究

センター長・金子由芳

- 神戸市共同研究
「公物管理上支障となる所有者不明の廃屋等への法的対応に関する研究業務」

国際連携研究

センター長・金子由芳

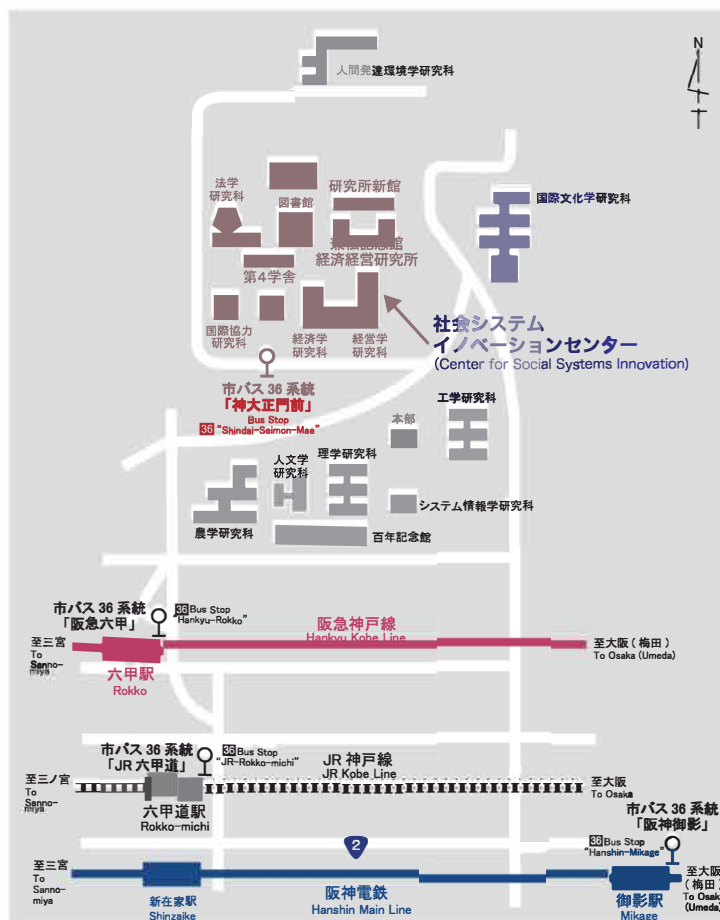
- ウズベキスタン法制度整備研究プロジェクト

デジタルバイオ・ライフサイエンスリサーチパーク推進研究

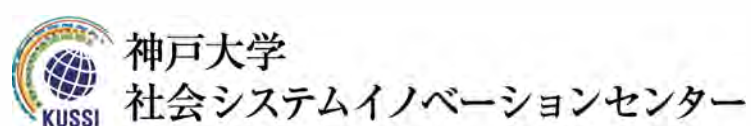
- バイオものづくり協創研究拠点、医工学研究拠点、先端膜工学研究拠点、健康長寿研究拠点、光モノづくり研究拠点との拠点間連携

各プロジェクトの詳細は、本センターウェブサイトをご覧ください。

アクセス マップ



- 最寄り駅から社会システムイノベーションセンターまで**
- 【徒歩】**
 阪急「六甲」駅から約 15 分
- 【バス】**
 神戸市バス 36 系統「鶴甲団地」行き、または「鶴甲 2 丁目止まり」行き乗車、阪神「御影」駅から約 25 分、JR「六甲道」駅から約 15 分、阪急「六甲」駅から約 10 分、「神大正門前」下車
- 【タクシー】**
 阪神「御影」駅から約 20 分／JR「六甲道」駅から約 15 分
 ／阪急「六甲」駅から約 10 分



〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

Tel : 078-881-1212 (大代表)

E-mail : cfssi-office@edu.kobe-u.ac.jp

ウェブサイト <http://www.cfssi.kobe-u.ac.jp>